

永田 ゆづる 県政ニュース vol.05

令和6年(2024)8月
発行 奈良県議会議員 永田ゆづる

Nara Prefectural Administration News

永田の説明書



プロフィール

- 早稲田大学 商学部 卒業
- 元NHK報道記者 奈良・仙台・東京社会部(皇室・警視庁担当)

その他の活動(所属)

県監査委員/総務警察委員会/観光振興対策・地域公共交通対策等特別委員会
議会改革推進会議/リニア中央幹線建設促進議連/京奈和自動車道建設促進議連
がん対策推進議連/殺処分ゼロをめざす議連/森林・林業・林産業活性化促進議連



ご挨拶

奈良県議会の6月議会は新たに2人の副知事を任命する議案などを可決し、7月3日に閉会しました。私が所属する総務警察委員会と観光・交通の特別委員会では、計8つの項目について質問や要望を行いました。議会の一員として引き続き、県当局へのチェック機能を果たすとともに具体的な提案をしていきます。

また、7月4日には県の監査委員に任命されました。県議会議員より2人選ばれ、県の本庁や出先機関となるおよそ240の部署等が監査の対象となります。県財務に加えて、県が財政援助している団体の支出が適切だったかどうかを監査します。県民が納めた税金が適切に使われているのかどうか確認するべく、しっかり仕事をしていきます。



観光・地域交通特別委員会

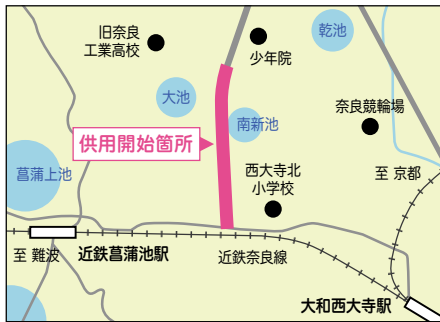
大和中央道の開通に伴う対策等について

委員会質問の録画▶



質問

6月16日に「大和中央道」のうち、奈良市秋篠町から西大寺赤田町までの830メートルにわたる区間が開通した。利便性の向上につながる一方、開通部分の南端が県道の谷田奈良線に接続していることから**周辺の渋滞が深刻化することが予想される。今後の対策についてどう考えているか。**



県の答弁

部分開通に伴って県道の谷田奈良線に車が流入して大和西大寺駅周辺を通過する交通量が増えることが想定される。「大和中央道」は徐々に交通量が増えていくと思うので、交通状況の変化を注視しつつ、必要な対策については市とも連携して対応していきたい。

要望

県道の谷田奈良線沿いでは、開かずの踏切りを解消するべく大和西大寺駅の高架化に向けた議論が行われている。知事は去年8月の記者会見で「昨年度中には県と市、近鉄の3者で高架化に向けた整備の方針を正式合意したい」と発表していた。この中には、駅周辺の街づくりの整備をどう進めるべきかも含まれていたが、想定していたスケジュール通りには進んでいない。開かずの踏切を一刻も早く解消し、周辺住民の利便性を向上させるためにも、**早期に3者合意できるよう調整を進めてほしい。**

観光・地域交通特別委員会

“白タク”取り締まり強化について



要望

とし6月、“白タク”営業の疑いで男2人が県警に逮捕された。男2人は、大阪市のホテルから奈良公園まで自家用車に6人のオーストラリア人観光客を有料で乗せた“白タク”営業をした疑いがもたれている。**多い日で1日に5組、1ヶ月で平均50組を送迎していた疑いについて触れた報道もあった。“白タク”が事故をした場合、その乗客への補償ができ**

ないことに加え、“白タク”の増加は県内のタクシー事業者への経営圧迫にもつながりかねない。県内のタクシー乗客数は、平成18年度は1019万人とピークであったが、コロナ禍前の平成30年度には682万人となり、令和4年度には458万人と大幅に減少している。**県内における観光消費を増やし、“奈良を潤う街”とするためにも、県警には白タクの取り締まりの強化をお願いしたい。**

“奈良テレビ”の番組内における知事発言について

要望

奈良県の行政情報を県民にわかりやすく、かつ広く理解してもらうことは県広報の重要な役割である。奈良テレビ「ならフライデー9」には県政特集のコーナーがあり、県も広報のためこの番組に年間1億5000万円の広告費を支出している。一方、奈良県知事は4月19日にこの「ならフライデー9」に出演して“政治的”とも受け取ることができる発言を繰り返している。ほかの民放各社のインタビュー等では、“政治家としての性格も帯びる”ため自由に応答することは当然だが、県が広告費を出している「ならフライデー9」においては、“奈良県知事”として出演するため、その目的から鑑みても広報の範囲にとどまるよう政治的発言は抑制的にするべきであり、改善をして欲しい。



総務警察委員会の質疑 6月28日撮影

公務員の勤務中に発生した病気やケガの補償について

要望

公務員の早期の社会復帰や福祉向上のため、公務が原因でケガや病気となった場合は、公務災害として補償される仕組みがある。県職員のAさんは、この補償申請をしたものの結果が出るまで2年6ヶ月も経過した。どこまでが公務災害にあたるのか判断に難しい場合があることは理解するものの、民間企業の“労災”は遅くとも半年で結果が出ることから、このケースでは県の対応が遅かった

と言わざるを得ない。Aさんは直近の1年6ヶ月は給与も出ずに大変苦しい生活をしてきた。国から県に出された通知でも、公務災害の申請については「迅速な処理を行うこと」とか「労災補償との均衡を失しないよう」と記されている。同じような事案が繰り返されないよう、国の通知に沿うスピーディーな対応をするとともに申請者とのコミュニケーションの方法等を改善してほしい。



助かった!

地域要望の対応について

～住民の皆様のお声～

困った!



山添村県道の整備

ことし4月中旬、山添村の県道(山添桔梗が丘線)に大きな石が複数横たわっていたり、枝が車に届きそうなほどに上から垂れ下がっていたりして通行に危険を感じているとご相談をいただきました。現場を確認してから県土木事務所に対応の相談をお願いした結果、5月上旬には、写真のように綺麗に整備していただきました。近くにはキャンプ場もあり、地元の方々のみならず村を訪れる観光客にも安心して通過できるようになりました。



整備前



整備後

整備した一部

大和西大寺駅すぐ西の歩道修繕

大和西大寺駅のすぐ北側で、かつ東西に伸びる県道谷田奈良線の歩道には劣化が著しい箇所も少なくありません。特にベビーカーや車椅子が通りにくくなるほどの“でこぼこした道”があります。このため、県土木事務所とも相談し、7月下旬、技術的に対応できる歩道箇所や点字ブロック周辺の14箇所を補修していただきました。富雄駅周辺などでも同様の事案があり、優先度が高い箇所から対応していただいています。



駅西にある踏切近くの歩道

補修後

補修箇所の一部

LINE



ご要望・相談は

←コチラから

少人数での座談会・県政報告も行っていますのでお気軽にお声がけください。

奈良県議会議員 永田ゆづる 奈良市登大路町30(県議会控室)

TEL : 050-3696-1053 FAX : 0742-90-1108

Mail : info@yuzurunagata.jp 永田 ゆづる 公式サイト <https://yuzurunagata.jp/>

